

平成16年6月11日

各位

会社名 株式会社 ほくぎんフィナンシャルグループ
代表者名 取締役社長 高木 繁雄
(コード番号 8377 東証・大証一部)
問合せ先 経営企画管理部長 松本 雅登
(TEL (076)423 - 7331)

経営統合の基本戦略と目標について

株式会社ほくぎんフィナンシャルグループ(社長 高木 繁雄)と、株式会社北海道銀行(頭取 堰八 義博)は、経営統合にかかる基本的な戦略と当面の収益や経営指標の目標について両社で確認するとともに、別紙のとおり「経営統合の基本戦略と目標について」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

以上

経営統合の基本戦略と目標について

平成 16 年 6 月



株式会社 ほくぎんフィナンシャルグループ

株式会社 北海道銀行

経営の効率化

両行のお客さまとの良好なお取引関係を維持・発展させていくことに重点を置きながら、北海道地区で重複するインフラを統合・再編するなどにより、経営資源をより有効に活用し、効率的で収益性の高い営業体制を構築する。

営業力の強化

北海道銀行の北海道内におけるきめ細かい金融サービスと、北陸銀行の北陸地方のほか三大都市圏を含めた本州における幅広いネットワークを結合させることにより、特に北海道内における営業力を飛躍的に向上させる。

経営基盤の安定化

経済環境の異なる地域にまたがる営業基盤を包含することにより、より安定性のある資産ポートフォリオを構築し、市場から高い信認を受け、お客さまから支持される地域金融グループを目指す。

目的達成に向けた戦略

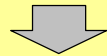
1. 経営の効率化

営業店舗インフラの再編

- 道内店舗体制の見直し
(北陸銀行北海道事業部と北海道銀行の共同戦略の展開)

店舗展開の基本方針

ほくほくグループ(北陸銀行+北海道銀行)としての道内資産を拡大増強するために、顧客ニーズを尊重しつつ効率的かつ効果的な店舗ネットワークを再構築する。



店舗数の推移

	H15/5 統合発表時	H20/3 見込み
道内有人店舗数	151 家店	138 家店

含む出張所、店舗内店舗は1家店としてカウント

- 三大都市圏店舗施設の共同利用等
北海道銀行の道外店舗施設・機能を北陸銀行と共同化を検討(統廃合、移転等の検討)

バックオフィス機能の共同化

(H16/5 実施済)

- 道内メーカーの共同化
- バックオフィス業務の共同化
 - ・ 夜間預金金庫の精算業務
 - ・ お取引先の集金現金精算、両替金準備業務
 - ・ 現送金業務

北陸銀行札幌事務センター廃止

企画・管理機能等の集約・共同化

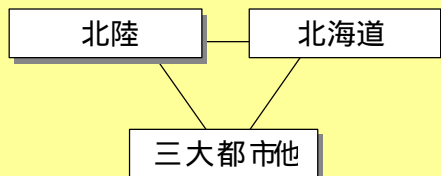
- 持株会社への機能集約
企画・リスク管理等のグループ総体にかかる部分を持株会社へ集約
- 共通する業務の共同化
新種業務への取り組みや管理事務等の共同化により効率化

2. 営業力の強化

ネットワークの活用

- 広域ネットワークを活用したビジネスマッチングの取り組み強化

北陸・北海道と三大都市圏（東京・名古屋・大阪）とのビジネスのパイプ役を担うことで営業力強化。



例)「北海道ビジネス交流会」の両行共同開催

～ H15.10 実施済、今後も継続開催

- 両行海外拠点の連携によるビジネス支援態勢強化

【中国、ロシア拠点】

北陸銀行上海駐在員事務所、富山県大連事務所
北海道銀行駐在員（北京、サハリン）

【その他拠点】

北陸銀行ニューヨーク駐在員事務所、
" シンガポール駐在員事務所

共用化インフラの活用

- 「オールほくほく」でのリレーションシップマネジメントの徹底
両行の道内インフラを活用し、企業単体取引から仕入・販売先、従業員取引までをグループ内に取り込んだ総合取引化による取引効率向上。
- 店舗網・ATM網の補完による利便性向上
ATM設置箇所：道内651カ所
ATMの相互開放（手数料の同一行扱）～実施済

共有ノウハウの活用

- 両行のノウハウ共有による提案力・ソリューション機能の強化
共同研修の開催、相互トレーニーの派遣 ～実施済
- 新種業務等への共同での取り組み
M & A（H16/3 包括業務提携契約）、シグケートロソ、確定拠出年金、デリバティブ等の専担部署の連携により、幅広いニーズに応える態勢を構築。新種業務の検討・準備等、共同化により、効率的・効果的に対応。

3. 経営基盤の安定化

資産ポートフォリオのリスク低減

- 貸出金構成の分散

広域営業基盤を活かし、地域的・業種のあるいは個人・法人に分散された資産ポートフォリオの構築によりリスクを低減

企業再生・不良債権処理能力向上

- 再生支援ノウハウ共有と営業基盤拡大に伴うM & A等の機能強化
- 日本海債権回収(株)(サービサー)の活用
- 自己査定、償却・引当基準等の統一
H17年3月末までに、基本的な考え方を統一

統合資本政策による安定化

- より柔軟な資本政策

統合による収益増強効果により内部留保の蓄積を進めるとともに、中期的には外部資本の調達等、資本政策の選択肢を拡大

- より安定的な資本政策

持株会社制により、子銀行・子会社収益の変動を吸収した安定的資本・配当政策を実施

ガバナンス態勢の強化

- 両行取締役の相互就任
相互に取締役を派遣し、ガバナンスの強化、相互理解の促進を図る
- 社外有識者による経営監視体制
持株会社に社外取締役を置く
大島雄次氏(明治安田生命相談役)を予定
子銀行に外部諮問機関を継続設置
北陸銀行 ~ 経営諮問委員会
北海道銀行 ~ 経営顧問会議

ほくほくグループの目指す姿

	ほくほくFG 20/3 月期実績			ほくほくFG 20/3 月期目標
	北陸銀行 16/3 月期実績	北海道銀行 16/3 月期実績	2行合算	
コア業務純益	550億円	328億円	878億円	950億円以上
当期利益	49億円	108億円	157億円	300億円以上
ROA (コア業務純益 / 期初期末資産平均)	0.97%	0.94%	0.96%	1%以上
OHR (経費 / コア業務粗利益)	48.6%	52.7%	50.2%	48%程度
道内拠点数 (出張所を含む。店舗内店舗は1か店として。)	24か店 (H15.5 統合発表時)	127か店 (H15.5 統合発表時)	151か店 (H15.5 統合発表時)	138か店以下 道内営業再編等による 経費削減効果(累計) 約30億円
自己資本比率	8.10%	6.47%	7.48%	9%程度
不良債権比率	7.87%	8.26%	8.01%	5%台以下
繰延税金資産 のTier1比率 (業務純益 × 実効税率 比)	55.1% (4.3年)	46.7% (4.2年)	51.7% (4.3年)	20%程度 (2年程度)

【参考】地銀上位行の経営指標等（平成16年3月期）

	A行	B行	C行	D行	E行	北陸・北海道合算 16/3月期実績	ほくほくFG 20/3月期目標
預金平残（億円）	88,168	72,225	66,928	60,389	58,692	80,947	
貸出金平残（億円）	76,236	57,346	49,446	43,155	50,027	65,081	
コア業務純益（億円）	1,285	672	482	480	549	878	950億円以上
当期利益（億円）	474	257	266	228	196	157	300億円以上
ROA（%） （コア業務純益 / 期初期末資産平均）	1.22	0.82	0.59	0.69	0.78	0.96	1%以上
OHR（%） （経費 / コア業務粗利益）	40.0	52.4	60.3	59.7	55.9	50.2	48%程度
自己資本比率[連結]（%）	10.66	11.06	13.60	11.39	9.47	7.59	9%程度
不良債権比率（%）	4.1	6.2	5.5	4.5	3.9	8.0	5%台以下
繰延税金資産の コア業務純益回収年数	1.3	2.7		2.4	1.5	4.3	2年程度

本資料には、将来の業績に係る記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い異なる可能性があることにご留意願います。

連絡先

株式会社 ほくぎんフィナンシャルグループ

TEL 076 - 423 - 7331

株式会社 北海道銀行 経営企画グループ

TEL 011 - 233 - 1005